

無料版

9月号



毎月1日発行

第 161 号 定価 850 円 (税込み 935 円・送料別途)
本社 東京都新宿区高田馬場 3-23-3 O Rビル 6 階
☎ 03(3371)9340 FAX 03(3371)9596 www.u-car.co.jp
本紙の無断転載・複製を禁じます

購読・広告のお申し込みは

☎ 03-3371-9340
発行所 (株) ユーストカー (株) ユーストカードットコム

「流れ」を徹底解説

相場は上がるよ
どこまでも

2本立て

見えた!

為替と

中古車輸出の関係

今号では、「中古車相場の上昇の流れ」と「為替と中古車相場の関係」の2つのトピックをお伝えする。「鳥の眼」視点で過去の数字を中長期にさかのぼって確認したり、年単位のデータを照らし合わせたりすることで、現在の中古車相場がどのような流れの中で形成されているのが見えてくる。

常々お伝えしているように、今までの大きな流れがわかると、これからの未来がどうなっていくのかを理解しやすくなり、相場予測の精度が上がる。そうした意味で今回は、コロナ前から現在まで、中古車相場がどのように上昇してきたのか、そして為替レートと中古車輸出の年次データを照らし合わせることで見えてきたポイントを詳しくお伝えしていく。

激動相場の渦中の今だからこそ「時間軸の鳥の眼」をしっかり勉強して、大きな流れをつかんで未来につなげて欲しい。「虫の眼」視点だけの経営はこれからは行き詰まるだろう。「鳥の眼」視点を磨き、戦略経営をしていかなければいけない時代になった。

《2面へつづく》

7面中古車輸出・関連記事 6月が想定外の最高記録! そのワケは?
21面トップコンサルタントが示す未来 事業継承でわたすべき「モノ」

AUCNET

熊本地震・千葉豪雨復興支援
チャリティーオークション

2026 年 9 月 7 日 (月)・14 日 (月)

9 月の TV オークションは「チャリティーオークション」として開催いたします。
売上の一部を義援金として被災地へ寄付。皆様の出品とご参加が、被災地の復旧・復興支援へとつながります。

出品で支援

支援の輪を広げるため、以下の車両を優先的に集荷いたします。

【特典】
対象車両のご出品で「出品手数料」を還元いたします。
【対象となる主な車種】
軽トラック、軽バン、商用バン、トラック、商用車

詳細は右記 Web サイト (QR コード) よりご確認ください。



取引で支援

オークションで成約、または熊本地区からの出品車両の落札、合わせて 5 台以上いただいた方全員に、「熊本県ギフトセット (5,000 円相当)」を進呈いたします。

※ギフトを 1 つお申し込みにつき 10 円を寄付いたします。



特別支援

熊本県および千葉県の会員様には特別支援として当チャリティーオークションの成約 / 落札手数料を「無料」でご提供させていただきます。そのほか、お支払い期日・車両保管場所のご相談も承ります。

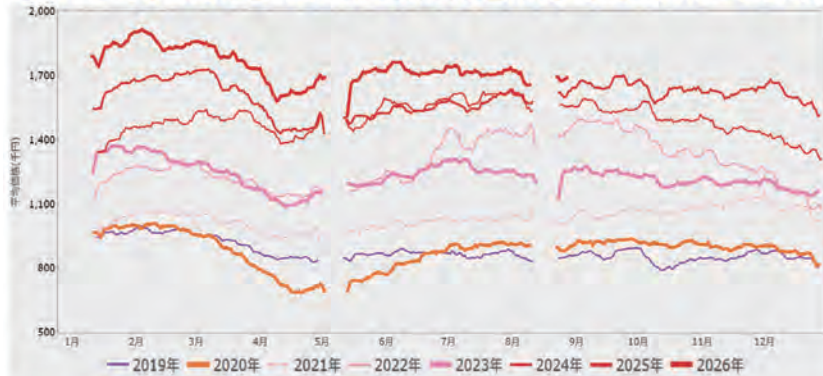


株式会社オークネット
〒107-8349 東京都港区北青山 2-5-8 青山 OM スクエア
TEL: 03-3556-0845 <https://www.aucnet.co.jp/car/>

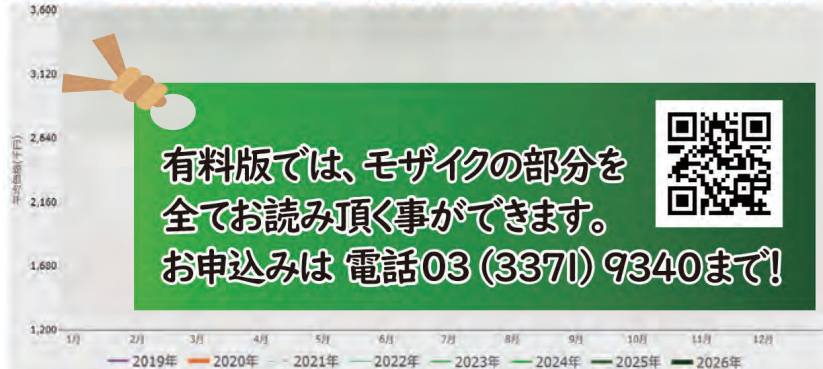
新規入会・資料請求はこちら >>>



① 1 ～ 10 年落ち AA 平均落札価格グラフ (2019 ～ 2026 年)



② 1 ～ 2 年落ち AA 平均落札価格グラフ (2019 ～ 2026 年)



有料版では、モザイクの部分を
全てお読み頂く事ができます。
お申込みは 電話03 (3371) 9340まで!

③ 3 ～ 5 年落ち AA 平均落札価格グラフ (2019 ～ 2026 年)



④ 6 ～ 10 年落ち AA 平均落札価格グラフ (2019 ～ 2026 年)



⑤ 11 年以上落ち AA 平均落札価格グラフ (2019 ～ 2026 年)



●コロナが上陸した20年を、全グラフ共通でオレンジ色の太い折れ線グラフで表示した。そして、コロナの影響がなかったその一年前、19年を紫の

各色の折れ線グラフで表示している。また、年式ごとの線の太さと濃さ

8年分まで時間軸を伸ばしグラフを作成し、まさに「鳥の眼」で相場の動きを見られるようになったわけだが、まずはその全体像を見る上での

また、紫の19年がコロナの影響前の「通常運転」の数字であることも今一度、お伝えしておく。そして22年のグラフも着目

2つの着目点を理解せずに全体像を見ても、ただ現在が「かなり高くなった」という認識で終わってしまうだろう。2つの

着目点を理解した上で、全体像を見るほうが全体の流れをつかむためのヒントを得られるはずだ。

「虫の眼」↓「鳥の眼」
皆さんが普段の業務で、「今日は安いな」「最近この車種上がったな」

さらに、年落ち別に分解した図も用意し、それぞれの年落ちがどのような上昇傾向を示すのかも、確認できるようにした。まずはグラフの説明をしよう。図①から図⑤までの共通部分として、

●1年～10年落ち合計…赤系
●6～10年落ち…青系
●11年落ち以上…グレー系
●1～2年落ち…緑系
●3～5年落ち…オレンジ系
●6～10年落ち…青系
●11年落ち以上…グレー系

19年と20年については、先ほど説明した通りの色をそのまま使用している。今回のグラフは本数が非常に多く、色だけで判別しづらい部分もある。そのため、細部については、よく目を凝らして確認していただきたい。そこはどうしてもお願いせざるを得ず、申し訳ない。

言うまでもない。すべてが止まったといっても過言ではない、市場崩壊といえる状態を表している。

また、紫の19年がコロナの影響前の「通常運転」の数字であることも今一度、お伝えしておく。そして22年のグラフも着目

2つの着目点を理解せずに全体像を見ても、ただ現在が「かなり高くなった」という認識で終わってしまうだろう。2つの

着目点を理解した上で、全体像を見るほうが全体の流れをつかむためのヒントを得られるはずだ。

「虫の眼」↓「鳥の眼」
皆さんが普段の業務で、「今日は安いな」「最近この車種上がったな」

今回、相場上昇に関しての中長期の時間軸「鳥の眼」を使ってみるためにグラフを作成した。いつも24面で紹介しているグラフとは異なり、時間軸を大きく伸ばし、コロナの影響を受ける前の2019年から2026年までの8年分の折れ線を重ねて表示した。

さらに、年落ち別に分解した図も用意し、それぞれの年落ちがどのような上昇傾向を示すのかも、確認できるようにした。まずはグラフの説明をしよう。図①から図⑤までの共通部分として、

19年と20年については、先ほど説明した通りの色をそのまま使用している。今回のグラフは本数が非常に多く、色だけで判別しづらい部分もある。そのため、細部については、よく目を凝らして確認していただきたい。そこはどうしてもお願いせざるを得ず、申し訳ない。

言うまでもない。すべてが止まったといっても過言ではない、市場崩壊といえる状態を表している。

また、紫の19年がコロナの影響前の「通常運転」の数字であることも今一度、お伝えしておく。そして22年のグラフも着目

2つの着目点を理解せずに全体像を見ても、ただ現在が「かなり高くなった」という認識で終わってしまうだろう。2つの

着目点を理解した上で、全体像を見るほうが全体の流れをつかむためのヒントを得られるはずだ。

「虫の眼」↓「鳥の眼」
皆さんが普段の業務で、「今日は安いな」「最近この車種上がったな」

少し細めの線で表示した。

にも規則を設けている。●古い年式ほど線を細く(21年は点線)、新しい年式ほど太く、そして色も濃くなるように設定した。

知らせしよう。

ので注意して見ていただきたい。6月から8月にかけての、上から4本目のグラフがそれだ。

ここで取り上げる理由は、皆さんに「あの時」を思い出してもらいたいため。2つの着目点を先にお伝えしたが、「あの時」を思い出せたと思う。4年前の熱い暴騰相場の「あの時」、3年前、その後の相場下落で買取・小売り(※)も苦戦を強い

「あの時」↓「鳥の眼」
皆さんが普段の業務で、「今日は安いな」「最近この車種上がったな」

「虫の眼」↓「鳥の眼」
皆さんが普段の業務で、「今日は安いな」「最近この車種上がったな」



10万台の共有在庫 登録無料

symphony ワンプラ®





symphony ワンプラ®
No Joining or Monthly Fees!

シンフォニーワンプラ

《3面の続き》

為し下落に転換するに
は、上昇の流れを作つて
きた要因を否定できるこ
とが現れなければいけな
い。それが見えるかどう
かを検証してみよう。

現在の供給不足には、
構造的な要因と突発的な
要因が重なっている。

・構造的な要因…トヨタ系
を中心とした国内供給の
調整、5〜6年落ち車両
の極端な少なさ(コロナ
期の新車販売減の影響)。
・突発的な要因…地震・水
害などの災害で多くの車
両が失われたことによる
需要の急増。

さらに、輸出需要の強
さ(26年上期輸出台数最
高記録更新中)が重なり、
相場はさらに押し上げら
れていくことになるだろ
う。

為替も相場を支える重
要な要素だ。現状、円高
方向への大きな転換は考
えにくく、円安基調が続
く限り輸出は強い。ホル
ムズ海峡の封鎖で一時的
に輸出が滞り相場が緩ん
だ場面もあったが、代替
ルートの構築が進んでお
り、長期的には輸出の活
性化に戻ると見るのが自
然だ。

これが現在の環境で
ある。そして、この先に
相場が下落に転じるには、
現在の市場環境を覆す
強い否定要素が必要に
なる。具体的には次の
4つだ。

- ・輸出仕向国の需要が弱
まること
- ・大幅な円高への転換

・メーカーが国内登録を
急増させ、供給が一気に
増えること

・各地の紛争が終わり
エネルギー、サプライ
チェーン(特に海運)が
正常化

現在、置かれた環境下
でこれらが実現する可能
性は限りなく低いといえ
るだろう。

さらに、

の需要が世界的に
強まる可能性が大きいと
思われる。

先ほどの青字の項目を
見て、皆さんはすぐに実
現すると考えるだろうか。
もし起こり得るとしても、
年単位ではないかと思っ
た。そういう意味で、相場が
下落する要素は現在に感
じられない。今後も相場
が高騰していく可能性は
非常に高いといえる。

△考察…厳しい小売り
環境▽

では、この相場環境が
国内小売りにどのような
影響を与えているのか。
輸出相場が強く推移する
一方で、国内小売は厳し
い状況が続いている。
輸出向けの車両が国内

相場を無視する形で高騰
し、割安感を感じにくい
中古車が生まれる場面が
多くなった。国内の小売
り相場はますます難しさ
を増している。

一方で、将来的に小売
りが復活する可能性もあ
る。



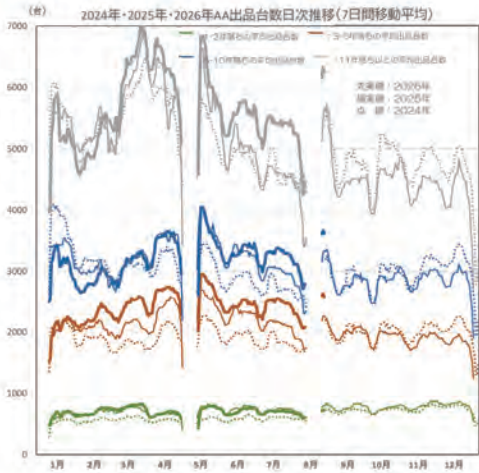
ただし、この変化は急
には起きない。市場が
ゆっくりと気づき、代替
サイクルが短くなること
で初めて需給が緩み始め
る。数年単位で徐々に変
化していく流れだと考え
るのが自然だ。

△まとめ△

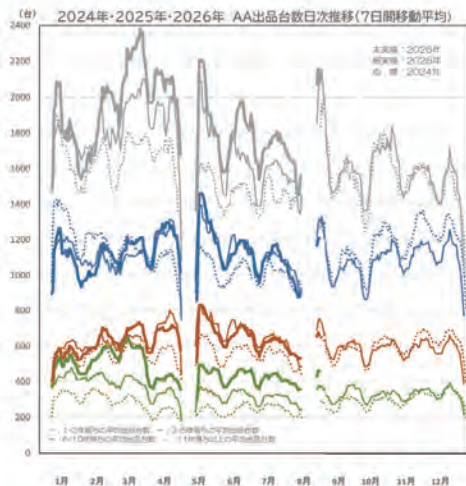
今までの相場高騰の
「流れ」が理解できた
らうか。

相場は「感覚」で高い
と感じるだけでは、本質
を見誤る。数字やグラフ
という「現実」を直視す
ると、これまでの思い込
みとのズレの大きさに驚
いたはずだ。これからの
時代は、この現実的な数
字をもとにバックボーン
を登見して今後の流れを
判断し、それを積み重ね

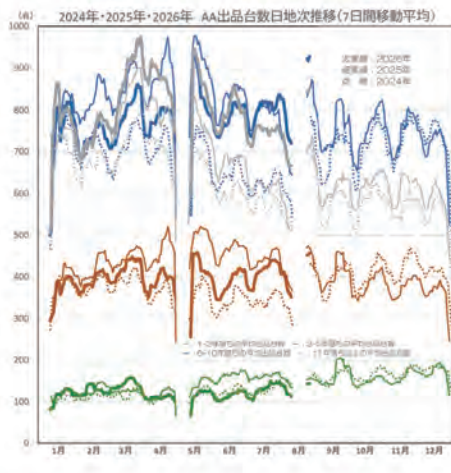
国産車 AA出品台数 日次推移



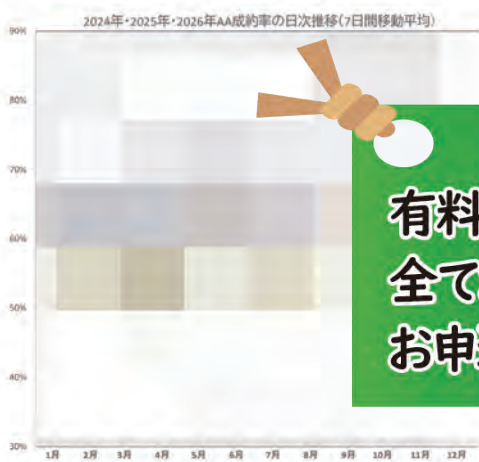
軽自動車 AA出品台数 日次推移



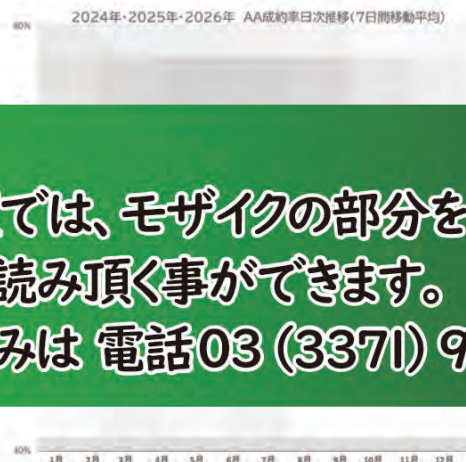
輸入車 AA出品台数 日次推移



国産車 AA成約率 日次推移



軽自動車 AA成約率 日次推移



輸入車 AA成約率 日次推移



有料版では、モザイクの部分を
全てお読み頂く事ができます。
お申込みは 電話03 (3371) 9340まで!



で戦略を描くことが不可
欠になる。

数字を読む力で勝ち進ん
でいるといえる。

また、相場が平常運転
に戻るまでには、まだ数
年はかかるだろう。だか
らこそ、短期の揺れや
感覚に振り回されず、数
字とバックボーンをもつ

て長い流れをつかむ「鳥
の眼」を育てることが重
要だ。

今回の紙面は、そのた
めの基礎となる「相場の
見方」について時間軸を
伸ばし、体系的に整理し
た内容になっている。ぜ
まっっている。

ひ本号を保存し、何度で
も読み返してほしい。社
内でもこの紙面を使い、
数字をもとに相場を読む
力を鍛えていただきたい。
激動の市場を乗り切る
ための武器は、ここに詰

Aux Mobility

ご落札 増強 キャンペーン

Winning Bid Campaign!

2026 8月・9月 2ヶ月間

期間中に オークション サイト AUC Board で 合計3台以上ご落札いただいた会員様対象 AUC特製 オリジナルブルゾン進呈!!

※サイズはLサイズのみとなります。※色はネイビー(濃紺)となります。※発送は10月中を予定しております。

AUX Mobility ワンポイントロゴ入り!

動きやすい伸縮素材 & 高い通気性!

これからの季節にピッタリ!

もれなくもらえる!

事故現状車 専門AA

オークション参加 新規会員様募集!

受付はこちらから Join Here!

損保会社からの事故現状車多数出品!

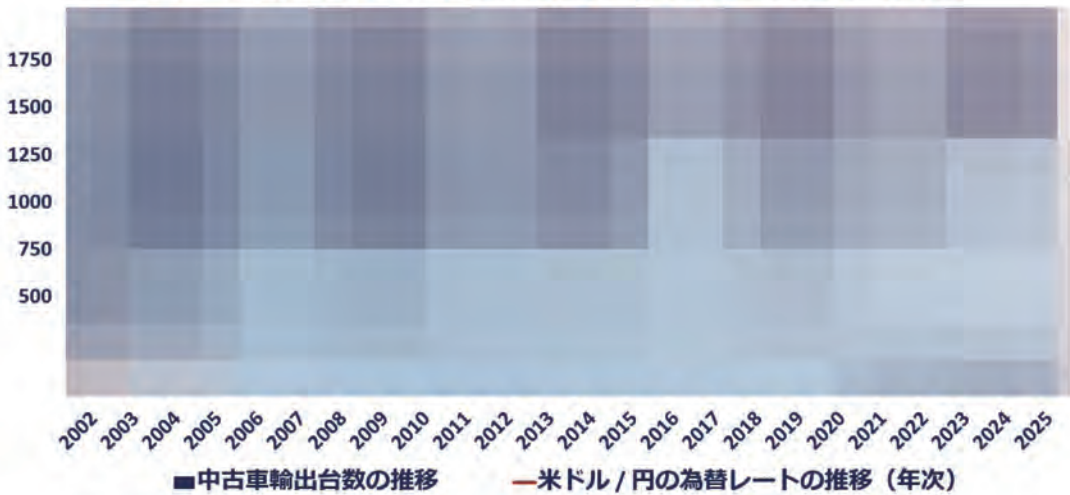
バラエティー 豊か

毎週800台以上 出品

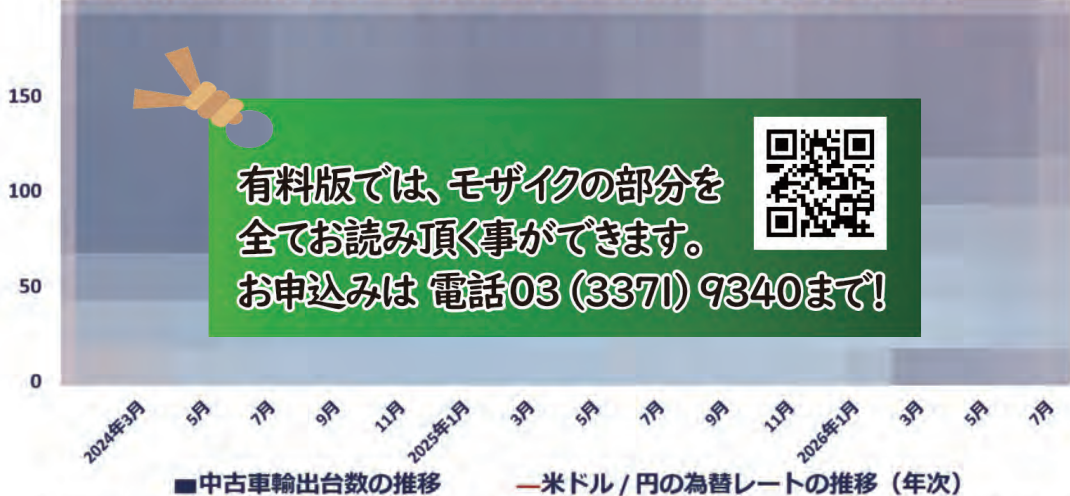
平均車齢 5年未満

オクスモビリティ株式会社

①中古車輸出台数と1ドルあたりの円相場の推移 (年単位)



②中古車輸出台数と1ドルあたりの円相場の推移 (月単位)



有料版では、モザイクの部分を
全てお読み頂く事ができます。
お申込みは 電話03 (3371) 9340まで！

円安とともに伸びた中古車輸出
年次データが映す「運動と例外」

中古車の輸出台数と円相場(対米ドル)を2002年以降の年次データでみると、とりわけ12年以降、円安と輸出増が長期的に重なる傾向が浮かぶ。ただし、単年では逆の動きも少なくない。円相場は中古車輸出をどこまで支えているのか。「鳥の眼」と「虫の眼」で探った。

長期で重なる円相場と中古車輸出

まずは左上のグラフをご覧ください。財務省の貿易統計に遡る中古車輸出台数が登場した2002年から25年までについて、輸出台数と円相場(対米ドルの年平均)を比較したものだ。完全に一致するわけではないが、12年以降は、円安と輸出台数の増加が長期的に重なる傾向が見える。

つまり、長い目では円安と輸出増が重なっても、単年の増減まば、ロシア向け輸出もウクライナ侵攻以降、複数回にわたって影響を受けているが、こちらはプラス方向へ作用しているように見える。輸出が増えるのは当然では」と思われるかもしれない。実際、円安になると海外の買手の購買力が増す。だが円相場だけが輸出を左右するわけではない。最近では、米国とイスラエルによるイラン攻撃で海運ルートが閉ざされ、アラブ首長国連邦(UAE)向け輸出が急減した。戦争の影響でいえる「鳥の眼」といっても良いだろう。

で強く連動しているとは言えないのだ。「円安になれば、海外から見た日本車の価格が下がるので、輸出が増えるのは当然では」と思われるかもしれない。実際、円安になると海外の買手の購買力が増す。だが円相場だけが輸出を左右するわけではない。最近では、米国とイスラエルによるイラン攻撃で海運ルートが閉ざされ、アラブ首長国連邦(UAE)向け輸出が急減した。戦争の影響でいえる「鳥の眼」といっても良いだろう。

こうした関係は、月単位よりも年単位で見た方が明瞭になる。我々がいう「鳥の眼」といっても良いだろう。一方、①のグラフを月単位に組み直すと、②のように異なる様相を示す。年次の「鳥の眼」は長期の基調を、月次の「虫の眼」は突発的な変化を映している。

超円高から円安へ12年を境に転換

さて、①のグラフが示すのは、12年以降、円安と中古車輸出の増加が長期的に同時進行したという点だ。その背景を考えると、円相場が円安へ動き出す前、1ドル80円という超円高の時代から振り返る必要がある。2008年9月の米国大手投資会社、リーマン・ブラザーズの倒産がきっかけで始まった世界不況、いわゆる「リーマンショック」。

日本に与えた影響も大きく、例えば新車販売台数(登録車と軽自動車の合計)は、08年の50万8千231台から09年は46万0千925台へ、9・3%減少。中古車輸出も過去最多となった08年の13万4千711台から、09年は6万7千603台へほぼ半減した。世界的な不況に加え、1月にロシアが中古車関税を最大80%引き上げたことも影響した。国内新車販売は10年に4万9千515台と回復に転じたものの、11年3月の東日本大震災で同年は4万2千121台まで減少した。

ただし、中古車輸出は全国的な景気後退と被災地での中古車需要、さらには年平均で1米ドル80円台(最高値は10月31日の1ドル75円32銭)という過去に例のない円高基調にもかかわらず、85万台規模まで回復した。円相場だけでは説明できない動きの一例だ。

翌12年は、エコカー補助金の再開などが追い風となり、新車販売台数は53万6千611台に。中古車輸出台数も100

中古車輸出に係わる主なトピックス、円相場、生産台数、国内販売台数など

年	月	トピックス	影響	1ドル=円 (年次)	日本の自動車		中古車輸出	
					生産台数	新車登録台数	輸出台数	乗用車単価
2008年	9月	リーマン・ブラザーズ倒産	世界的な不況(〜2014年)	103	11,563,629	5,082,231	1,347,174	594
2009年	1月	ロシアの中古車関税引き上げ	ロシア向け中古車輸出減少	94	7,934,516	4,609,255	676,032	481
2011年	3月	東日本大震災	新車/中古車の輸出減少	80	8,398,630	4,210,219	858,195	504
2012年	9月	ロシア、リサイクル料金設定	中古車の輸入障壁として機能	80	9,943,077	5,369,661	1,004,665	473
2020年	1月	新型コロナウイルスの感染拡大	世界的な不況(〜2023年)	107	8,067,943	4,598,527	1,061,936	493
2022年	2月	ロシアによるウクライナ侵攻	ロシア向け中古車輸出急増	131	7,835,319	4,201,262	1,237,775	912
2023年	8月	日本政府によるロシア向け乗用車輸出規制	ロシア向け迂回輸出発生	140	8,997,452	4,778,861	1,543,384	866
	11月	フシ派による紅海の商業船攻撃	スエズ運河の通過困難					
2026年	2月	イラン攻撃にともなうホルムズ海峡封鎖	UAE向け輸出減少	159	4,079,534	2,387,189	856,677	1,259

新車登録台数は登録車と軽自動車合計 / 2026年の数値は上半期(1〜6月)

日本最大級の中古車流通ネットワークサービス

中古車の仕入・売却・小売販売のことなら

AS NET
エーエス・ネット®

新規会員募集中



掲載台数年間1,200万台
80,000会員様が利用中

入会金
月会費 無料

AS NET サービス紹介

仕入れ

17万台以上出品中
全国147会場と提携!

- 共有在庫を業販価格で購入(ワンプライス)
- 全国のオークションからセリで落札できる!

詳しくはコチラ!



売却

ASNETが下取り車・
在庫車の売却ルートに!

- 共有在庫へ業販価格で出品(ワンプライス)
- オークションの会員でなくてもオークションに出品できる!

詳しくはコチラ!



小売サポート

お客様との
小売商談ツール!

- 店頭在庫がなくても車の販売ができる!
- お客様とのリモート商談がアプリで可能に!

詳しくはコチラ!



株式会社 オートサーバー

お問い合わせ・資料請求は
☎ 03-6855-5500

入会金・月会費 無料会員募集中 詳しくはコチラ▶
<https://www.autoserver.co.jp>



《23面からの続き》

為替だけでは決まらない
仕向国の盛衰

今年上半期の累計輸出
台数は、11万6000台の
ロシアを筆頭に、タンザ
ニア（8万9036台）、
ニュージールランド（4万
6869台）が続いた。

一方、中古車輸出が1
00万台規模に復帰した
12年当時、仕向国の上位
陣はどのような顔ぶれ
だったのだろうか。首位は
ロシアの14万2407台
で、これにミャンマー
（12万805台）、UAE
（8万7789台）が続
いた。

ミャンマーの25年の輸
出台数は8963台（※
なので、12年当時の13分
の1以下まで減少したこ
とになる。18年に施行さ
れた右ハンドル車輸入禁
止の影響だが、一方で03
年の同国向け輸出はわず
か1488台に過ぎな
かった。

（※）タイ経由でミヤ
ンマーへ行く車両があると
推測されているが実態は
不明

中古車の年間輸出台数
が貿易統計上に明記され
るようになってまだ23年
だが、それでもこのよう
な盛衰興亡は珍しくな
い。為替の条件が同じで
も、仕向国の制度や景気
が変われば、輸出台数は
大きく動く。

例えばスリランカ。18
年2月、上級公務員など
へのボーナスとして高額
な自動車関税のうち、当
時のレートで約345万
円分を免除するパーミッ
ト（輸入許可）を発行。
この結果、空前の日本車

パブルが発生した。

ところが、予想を上回
る急激な中古車輸入に驚
いた政府は、同年6月に
免除額を引き下げ。9月
にはパーミットの使用自
体を凍結してしまう。そ
れでも18年のスリラン
カ向け輸出は対年比80・
9%増の7万8555台に
達した。

その後、スリランカは
新型コロナウイルス感染
拡大の影響で財政が破
綻。22年4月には対外債
務不履行（デフォルト）
に陥ってしまう。乗用車
の輸入は20年3月に停
止。再開は25年2月まで
待たなければならなかつ
たのである。

この2カ国の例が示す
ように、中古車輸出が常
に安定して続くわけでは
ない。円安が輸出を促し
やすい環境にあっても、
輸入規制や現地景気によ
って台数が影響される
ことは珍しくない。

円安の追い風を受け
拡大したアフリカ

13年以降の円安が中古
車輸出の基調を支えたと
すれば、その受け皿の一
つがアフリカだ。

中古車の地域別輸出に
おいて、アフリカがアジ
アを抜いて首位に立った
のは25年のこと。歴史的
にみるとアフリカの首位
国は南アフリカ、そして
ケニアが続いたが、22年
からはタンザニアが独走
している。

輸出台数は11万9036
台。アフリカ勢として初
めて年間10万台を超え
た。もともと、タンザニ
ア向けはすべてが自国
内で消費されるわけでは
なく、一部は内陸国へ運
ばれている。

02年当時、アフリカ向
けの中古車輸出は4万2
127台でシェアは7・
1%。とはいえ、アフリカ向
けの乗用車平均単価は、
32万8000円だった。

11、12年の1ドル＝80
円という為替相場は、現
在の状況からは信じられ
ないほど高い。今年は春
と夏の二つの局面で政府
による円買い介入が行わ
れてもなお、1ドル＝1
60円台に迫る場面が
はいけない。

円相場は輸出の基調を
支える一因であって、通
年台数を決める唯一の尺
度ではないことを忘れて
はいけない。

地域別中古車（乗用車）輸出台数の推移

地理図	2025年1～12月			2024年1～12月			増減率	
	台数	シェア	FOB価格	台数	シェア	FOB価格	台数	FOB単価
アフリカ				291,432	21.4%	670		
アジア				306,928	22.5%	1,733		
中東				198,975	14.6%	441		
中東欧・ロシア等				216,450	15.9%	1,020		
南米				84,820	6.2%	556		
大洋州				115,715	8.5%	874		
西欧				66,203	4.9%	1,259		
中米				69,830	5.1%	1,175		
北米				12,946	0.9%	1,616		
合計				1,363,299	91.5%	1,005		

出所：財務省貿易統計

有料版では、モザイクの部分
を全てお読み頂く事ができます。
お申込みは 電話03 (3371) 9340まで！



100系、200系ハイエースで埋め尽くされたウガンダの首都・カン
パラのタクシー乗り場（7月、本紙特派員写す）

Excellence

for you

大好評!!

過去1年以上オークション出品歴のない車両が多数出品! 2つのEX、魅力の成約率!!

売切りEX & トレタマEX

株式会社JU岐阜羽島オートオークション

〒501-6330 岐阜県羽島市堀津町2211番地
tel 058-398-5100(代) fax 058-398-5109

http://www.i-gforce.co.jp